

**地域とともに、本物の豊かさを求めて！**

特定非営利活動法人

# **地域産業おこしの会**

## **活動の歩み、そして未来へ**



**地域へ出掛けていきます  
地域同士で、交流します  
地域と一緒に、考えます**

2018年6月8日(金) 2018年度総会・記念講演会 発表資料

# 地域産業おこしの願いは地域の成長性と豊かな暮らし実現

「テレワークでイノベーションを」。20年前にテレワークを標榜し起業しました。3.11の大震災の体験ではBCPの観点からも避難者の生活再建でもテレワークが大変役立ち、テレワークの有効性を再認識しました。

そして、今、働き方改革が政府目標の一つとなり、国民運動を目指す「テレワーク月間」も設定されました。地域においては、女性活躍や働き方見直しを契機に、地域の暮らし方やあり方、本物の豊かさを求めて問い直し始めていると感じます。

農業、水産の第一次産業からサービス産業まで、地場を取り巻く環境はますます厳しさを増していますが、市町村が一体となって地場の未来を問い、様々な問題解決を試み、豊かさへの道を見せてくれている地域があります。

当会では、そうした地域と思考する時間を共有したいと考え、積極的に交流する活動を展開しております。

今後もパブリックサポートの精神で、地域の産業おこしの観点から地域産業の未来を模索していく所存です。

理事長 会 田 和 子 (株)いわきテレワークセンター代表取締役)

# 地域産業おこしの会 目的・ビジョン

地域づくり、地域活性化、雇用創出……

全国の仲間と交流してヒントを得よう！

『**地域産業おこしの会**』は、各地域で企業誘致、地域づくり等、地場産業の成長に貢献し、実績を蓄積してきた実務家、事業家、専門家等が集まってできた会です。

そのベンチャー精神、努力や経験ノウハウを広く世の中に周知し、後に続く地域産業に取り組む人材づくりに貢献していくこと、人と人、地域と地域とのネットワークづくりを支援することが、地域産業おこしを促進すると考え、活動の主な目的としています。

そのため、

- (1) 各地域で活躍する人々が、その経験ノウハウを伝え共有する場
- (2) 各地域で活躍する人々同士をネットワークし、  
情報や人脈を交換しあう場

を通して地域産業おこしに挑戦する勇気、貢献する喜びを共有する活動を推進します。地域産業の資源は「人」であり、「人」しかないと主眼とし、会員相互の信頼ネットワークを拡充していきます。

会員数(2016年5月13日時点) 正会員134 賛助会員10 計144

# 特定非営利活動法人 地域産業おこしの会 主な経緯

	年次	西暦・平成(年度)	月日	主な経緯内容
原点	0	2003年(平成15年)	9月17日	内閣官房が地元地域において地域産業振興や活性化に取り組んでいる人を「地域産業おこしに燃える人」として33名を認定
胎動期 ↓	1	2004年(平成16年)		
	2	2005年(平成17年)		
	3	2006年(平成18年)	4月9日	任意団体 地域産業おこしに燃える人の会を結成。会員33人 第2期「地域産業おこしに燃える人」36名を選定
草創期 ↓	4	2007年(平成19年)	9月17日	特定非営利活動法人 地域産業おこしに燃える人の会 設立総会
	5	2008年(平成20年)	4月	特定非営利活動法人 『地域産業おこしに燃える人の会』 発足
	6	2009年(平成21年)		
	7	2010年(平成22年)	11月	第3期「地域産業おこしに燃える人」44名を選定、総勢113人となる。
充実期 ↓	8	2011年(平成23年)	4月11月	「認定特定非営利活動法人」認定 特定非営利活動法人 『地域産業おこしの会』 に名称変更 (広範な人財が参画し、多様な活動展開をめざす。)
	9	2012年(平成24年)		
	10	2013年(平成25年)	4月	NPO法人発足5周年記念講演会 地域産業おこしに燃える人10周年の会
発展期	11	2014年(平成26年)		
	12	2015年(平成27年)		
	13	2016年(平成28年)		
	14	2017年(平成29年)	3月9日	第1回地域産業おこし大賞表彰式
	15	2018年(平成30年)	4月	NPO法人発足10周年記念講演会



2003年9月17日、33人の地域産業おこしに燃える人が生まれました。  
当時の小泉純一郎総理大臣が「創業支援や地域産業の活性化等、様々な地域産業おこしに頑張っている人たちを応援しよう」という目的で、日本全国の現場にいる33人を「地域産業おこしに燃える人」として選定しました。



## 地域産業おこしに燃える人の会

平成15年9月17日 於 総理大臣官邸

# ◆地域産業おこしに燃える人 113名

## 第1期(33人)

松田一敬(北海道)、花田正博(北海道)、相澤徹(岩手県)、佐藤利雄(岩手県)、岩淵明(岩手県)、佐藤晃一(秋田県)、吉田孝(福島県)、会田和子(福島県)、山口章(群馬県)、渡辺知尚(千葉県)、津幡英夫(東京都)、山田伸顕(東京都)、関幸子(東京都)、堀池喜一郎(東京都)、安井潤一郎(東京都)、岡崎英人(東京都)、松井利夫(神奈川県)、佐藤一子(神奈川県)、大橋俊夫(長野県)、本川栄子(岐阜県)、山田穎二(静岡県)、福光松太郎(石川県)、木村修(三重県)、山川進(三重県)、高木治夫(京都府)、三谷陽三(兵庫県)、福間敏(島根県)、戸田雅良(岡山県)、東谷望史(高知県)、坂本世津夫(高知県)、福田興次(熊本県:物故)、洲鎌孝(沖縄県)、石井次郎(香港)

## 第2期(36人)

ロス・フィンドレー(北海道)、辻昌一(北海道)、久保裕史(北海道)、古川岩男(青森県)、清水健司(岩手県)、田鎖巖(岩手県)、佐藤日出海(岩手県)、横山照康(山形県)、伊藤信夫(栃木県)、田村幸夫(栃木県)、田辺恵一郎(東京都)、甲谷勝人(東京都)、宮城治男(東京都)、駒崎弘樹(東京都)、福島正伸(東京都)、深田稔(東京都)、山田長満(神奈川県)、西川正男(新潟県)、小出宗昭(静岡県)、塚越寛(長野県)、西村幸彦(三重県)、吉田修(三重県)、野杓育郎(大阪府)、堂野智史(大阪府)、岩崎義一(栃木県)、藪木伸一(岡山県)、長谷川陽子(島根県)、若松進一(愛媛県)、畦地和也(高知県)、横石知二(徳島県)、杉武男(熊本県)、岸本晃(熊本県)、島田勝也(沖縄県)、金城利憲(沖縄県)、新城博(沖縄県)、奥キヌ子(沖縄県)

## 第3期(44人)

寺島満喜子(北海道)、鈴木宏一郎(北海道)、遠藤一男(宮城県)、畠山重篤(宮城県)、齋藤輝彦(山形県)、小山修(茨城県)、小泉力夫(茨城県)、西須紀昭(栃木県)、宮内実(群馬県)、登内義也(群馬県)、伊藤麻美(埼玉県)、野老真理子(千葉県)、浜野慶一(東京都)、藤崎慎一(東京都)、島田昭彦(東京都)、細貝淳一(東京都)、榎田竜路(神奈川県)、須田稔人(富山県)、前田健二(福井県)、手塚伸(山梨県)、小林史磨(長野県)、渡辺孝秀(静岡県)、野澤浩樹(静岡県)、泉英明(大阪府)、服部一成(和歌山県)、三澤誠(島根県)、横田学(島根県)、寺本英仁(島根県)、大江和彦(島根県)、石藤延史(岡山県)、平田克明(岡山県)、三宅曜子(広島県)、吉田敦也(徳島県)、古川康造(香川県)、福富治(愛媛県)、野田文子(愛媛県)、畦地履正(高知県)、水田幸子(高知県)、小役丸秀一(福岡県)、本田節(熊本県)、桑野和泉(大分県)、黒木繁人(宮崎県)、豊重哲郎(鹿児島県)、山城克己(沖縄県)




# 2004年度の活動




年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
2004年 7月16日(金)	<b>地域産業おこしに 燃える人サミット in京都2004</b>	<p>ご挨拶：薦田泰久氏(地域経済産業審議官) 福水健文氏(近畿経済産業局長)</p> <p>パネルディスカッションⅠ：「ITと起業家精神による地域活性 ～各地の事例から～」</p> <p>パネリスト： 松田一敬氏(北海道ベンチャーキャピタル(株)代表取締役) 関 幸子氏(株まちづくり三鷹産業部プロジェクトグループマネージャー) 福田興次氏(株福田農場ワイナリー代表取締役)</p> <p>コーディネータ：真野博司氏(株産業立地研究所代表取締役社長)</p> <p>パネルディスカッションⅡ：「ITと起業家精神を 京都の発展にどう活かすのか」</p> <p>パネリスト： 堀池喜一郎氏(NPOシニアSOHO普及サロン・三鷹代表理事) 高木治夫氏(株ネットイン京都代表取締役) 加畑満久氏(京都職業能力開発大学校助教授) 築地達郎氏(株京都経済新聞社代表取締役編集長)</p> <p>コーディネータ：國領二郎氏(慶應義塾大学環境情報学部教授)</p>	京都市	150名
7月23日(金)	<b>東北・地域産業 おこしシンポジウム</b>  本荘由利テクノネットワーク 設立5周年記念事業	<p>記念講演：「地域産業おこしの視点と実践」 東北経済産業局長 本部和彦氏</p> <p>基調講演：「地方小都市から日本を変える」 一橋大学大学院商学研究科教授 関 満博氏</p> <p>パネルディスカッション：「地域産業おこしとは！」</p> <p>パネラー： 福間 敏氏(島根県斐川町役場元企業振興局長) 佐藤利雄氏(岩手県花巻市起業化支援センター主任研究員) 吉田 孝氏(福島県(株)会津リエゾンオフィス執行役員業務部長) 会田和子氏(福島県(株)いわきテレワークセンター代表取締役) 佐藤晃一氏(秋田県本荘市建設部建設課長)</p> <p>コーディネーター：関 満博氏</p>	秋田県 本荘市	230人



# 2005年度の活動

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
9月9日(金)	経済産業省で燃える人交流会 	挨拶:奥田地域経済産業審議官 講演:関先生からは、日本の経済や地域的情勢、その中で頑張っている地域として、隠岐の海士町の取組みの講演をいただき、「来年の同窓会は海士町で」と講演を締めくくられました。燃える人で何か一緒に活動したいと多くの人から希望があり、12月までメーリングリストでアンケート調査を実施	東京 経済産業省	

# 2006年度の活動

2006年4月	任意団体「地域産業おこしに燃える人の会」を結成、会員33名			
8月	幹事会	上士幌町の町長、役場職員と懇談会を実施し、産業振興政策についてのアドバイスを行なう。	北海道 上士幌町	
9月	地域産業おこしに燃える人in海士町 	2,300人の離島での人口減少、財政再建、地場産業の振興をテーマに、3分科会も開催。島根県、一橋大学、燃える人、地元関係者200人もが参加し、離島の自立した地域経営の方向性を探る。 	島根県 海士町	200名
12月	海士町と「海士町産業おこし応援プロジェクト協定書」を締結。実際の産業振興事業を支援する取組を開始する。<支援実績> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.大手通販業者を紹介し、そのカタログ掲載によって約500万円の売上をのばす。</li> <li>2.海士町のWEBサイトの診断を行い、利用しやすい、更新しやすいサイトを提言</li> <li>3.瞬間冷凍技術(CAS)による海産物の販路開拓先の紹介</li> <li>4.東京での物産フェアの開催(2008年3月)</li> <li>5.総務省ICT事業における総合企画運営支援実施(平成19年度~21年度3ヶ年事業)</li> </ol>			
2007年3月	地域産業おこしに燃える人選定委員会にて第2期燃える人36人を選定、合計69名の燃える人となる。			



# 2007年度の活動

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
2007年 9月27日	<p><b>地域産業おこしに燃える人の会 In Tokyo シンポジウム</b></p> <p>後援: 内閣府・経済産業省・ 農林水産省</p>	<p>テーマ:「今、日本の地域再生に必要な人材としくみづくり」</p> <p>1 主催者 挨拶 松井 利夫氏 地域産業おこしに燃える人の会 会長</p> <p>2 燃える人への応援メッセージ 内閣府 地域再生事業推進室長 上西 康文様 経済産業省経済産業政策局地域経済産業政策課長横田俊之様</p> <p>3 基調講演:関 満博氏 一橋大学教授 「まちづくりはひとづくり＝地域産業おこしに燃える人の役割」</p> <p>4 地域活性化事例発表 (1) 東谷 望史 馬路村農業協働組合 理事長 (2) ロス・フインドレー (有)ニセコアドベンチャーセンター代表取締役</p> <p>5 地域活性化シンポジウム(新潟中部沖地震復興応援) 「震災にまけるな 立ち上がれ日本の地域産業」 コーディネーター 関 満博氏 パネラー:西川 正男 株式会社サイカワ 代表取締役 奥 キヌ子 株式会社レキオファーム 代表取締役 三谷 陽造 神戸市産業振興局工業課長 田辺 恵一郎(株)プラットフォームサービス代表取締役会長</p>	東京 全国町村 会館	燃える人 29 人、国・ 都道府県、 市町村等 の自治体 関係者約 300人参 加。
9月27日(木)	<p>特定非営利活動法人 地域産業おこしに燃える人の会 設立総会</p> <p>審議事項1、設立趣旨書及び確認書に関する件 2、定款に関する件 3、役員に関する件 4、入会金及び会費に関する件 5、事務所の所在地に関する件 6、設立代表者選任に関する件</p>		東京 永田町 南甫園	25名
11月	地域産業おこしに燃える人の会NPO法人化を内閣府に申請。			




# 2008年度の活動




年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
2008年4月		地域産業おこしに燃える人の会のNPO法人化が認証される。		
5月	燃える人 in 水俣	公害で大きな痛手を受けた水俣市は 市と住民が協力して環境対策に取り組んでいる。健康と環境にこだわる経営を実践している福田農場ワイナリー(福田興次社長)を見学。環境事業に携わる地元市民や行政関係者を交え、シンポジウムを開催	熊本県 水俣市	
9月	拡大幹事会	上士幌町内で行われている地域活性化のための事業や観光資源の視察、酪農施設訪問などを経て、上士幌町長、役場職員と地域振興についての意見交換を行った。	北海道 上士幌町	
10月	「日本再生は地域からはじまる」シンポジウム  地域産品展示即売会	基調講演:「地域のイニシアチブが日本を変える」 構想日本 加藤秀樹代表 シンポジウム:「地域リーダー」として地域活性化を成功させてきた会田和子(いわきテレワークセンター社長)、木村修(伊賀の里モクモク手づくりファーム社長理事)、金城利憲(ゆいまーる牧場 相談役)が具体的な地域活性化手法、活動経験などを紹介。  後援:内閣府・経済産業省・農林水産省・財団法人まちみらい千代田	東京PFS	120名
2009年 3月6日(金) 7日(土) 8日(日)	燃える人in伊江島 テーマ: 「日本再生は地方から始まる～伊江島での民泊が示す・人が育つ本質とは～」	沖縄県伊江島にて、「日本再生は地方から始まる」伊江島での民泊が示す・人が育つ本質とは」と題した講演会・意見交換会を実施した。  観光収入を増やすだけにとどまらず、青少年の人材育成の観点から地域おこしに成功している伊江島の実情を見聞し、現地の方々との意見交換を行った。  また、那覇市にて「沖縄美ら島地域・産業おこし100人委員会」幹事会と懇親会を開き、沖縄の地域おこしに燃えている方々と意見交換を行った。	沖縄県 伊江村	



# 2009年度の活動

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
9月17日	セミナー「地域おこしに燃える」開催  後援： 内閣府・農林水産省・ 経済産業省・財団法人 まちみらい千代田	ご挨拶：野田 耕一氏 経済産業省地域経済産業グループ 立地環境整備課長  セミナー：金城 利 憲氏（有限会社ゆいまーる牧場 相談役） 堀池 喜一 郎氏（NPO法人シニアSOHO普及サロン三鷹顧問） 横石 知二氏（株式会社 いろどり 代表取締役社長） 久保 裕史氏（北の起業広場協同組合専務理事） 松田 一 敬氏（株式会社HVC 代表取締役社長） ゲストスピーチ：関 満 博氏（一橋大学教授）	東京 ちよだPFS	114名
11月14日 15日	「燃える人の会」 伊賀 	木村修、吉田修両会員のお世話により、「農事組合法人伊賀の里モクモク手づくりファーム」にて実施。 当会々員6名、事務局3名および岩手県二戸市議会議員が5名参加。 同施設の視察、木村会員からのお話、内保博仁伊賀市長のゲストスピーチを伺い、交流会を実施。翌日には当会幹事会を行った後、三重県多気郡多気町に移動して農林商工課 岸川 政之課長のお話を伺い、三重県立相可高校相可高校食物調理科の実習施設「まごの店」を視察。指導されている村林新吾先生のお話を伺った。	三重県 伊賀市	14名

# 2010年度の活動

2010年 7月6日	第3期燃える人選定委員会を開催。44名を選定。		東京 千代田区 学士会館	
2010年 11月4日	「第3期燃える人44名認定授与式」を実施。 燃える人は計113名となる。  祝辞：山崎昇墨田区長 小林利幸内閣官房地域活性化統合事務局次長、 野田耕一経済産業省立地環境整備課長の祝辞 記念講演：関満博先生の記念講演 ・松井会長から認定書授与	 	東京 すみだ 産業会館	127名

# 2011年度の活動

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
7月27日(水)	第1回地域産業おこしセミナー	「信じれば夢はかなう」と題して伊藤麻美氏(当会理事・日本電鍍工業(株)代表取締役)講演	東京 ちよだPFS	30名
8月24日(水)	第2回地域産業おこしセミナー	「観光による地域産業おこし」と題して山口章氏(当会理事・財団法人群馬県観光国際協会専務理事)講演	東京 ちよだPFS	24名
9月9日(金) 10日(土)	第3回地域産業おこしセミナー In伊那	講演:「企業は地域とともに」 塚越寛氏(当会顧問・伊那食品工業(株)会長)  工場視察・伊達水蜜園ファーム等視察	長野県 伊那市	24名
10月9日(日)	第4回地域産業おこしセミナー In帯広	講師: 米沢則寿氏(帯広市長)、為広正彦氏(株)エコエルク社長)、梶宗徳氏(十勝親父の背中を超える会代表) 内容: 帯広を、より活性化しようと活躍されているコアメンバーの方々と地域産業おこしの会主要メンバーと意見交換。	北海道 帯広市	18名
11月2日(水)	地域おこしin仙台 シンポジウム 東北工業大学共催	『震災復興から地域再生へ』～地域視点によるまちづくり～ 講演①「従前の土地への住居を前提とした石巻市街地及び石巻漁港の復興計画」(稲村肇氏(東北工業大学教授)) 講演②「東日本大震災からの産業復興」(関満博氏(明星大学教授)) パネルディスカッション:「復興にむけた生活や生業における課題と提言」 パネラー: 会田和子(当会理事長、(株)いわきテレワークセンター代表取締役)/佐藤利雄氏(会員、岩手大学産学官コーディネーター)/新井信幸氏(東北工業大学講師)	仙台市	83名
2012年 2月22日(水)	第5回地域産業おこし 新春セミナー	「ひとが元気になる異分野コミュニティの実践とは～KNS、メビック・クリエイティブクラスター創生活動を通して」 堂野智史氏(会員、財団法人大阪市都市型産業振興センターメビック扇町所長)講演	東京 ちよだPFS	24名



# 2012年度の活動(1)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
2012年 5月16日(水)	<b>2012年度総会開催 記念講演会</b>	<p>「震災復興と地域産業おこし」と題して 大西隆氏(当会最高顧問、東京大学大学院教授)講演</p> 	東京 ちよだPFS	77名
6月30日(土)	<p><b>地域産業おこしの会 @帯広2012</b> ～農商工連携セミナー～</p> 	<p>講演①:「6次産業化で地域を元気に」 大塚洋一郎氏(農商工連携サポートセンター代表理事)</p> <p>講演②:「とかちの価値と十勝でできるカタチ」 近江正隆氏(株)ノースプロダクション代表取締役)</p> <p>ワークショップ:「十勝の可能性について」 農商工連携を軸とした異業種交流、地域間連携のネットワークおよびその活動を担う人材育成を目的に開催。 「やぶ田ファーム」視察</p>	北海道 帯広市	50名
10月6日(土)	<p><b>地域おこしシンポジ ウムin由利本荘</b></p> <p>テーマ: 「元気ある中山間 地域の産業おこし」</p> 	<p>基調講演:「地域資源活用と農商工連携の推進！」 吉田雅彦氏(中小企業基盤整備機構理事)</p> <p>パネルディスカッション: 「元気ある自立する中山間地域の産業おこし！」 パネリスト:会田和子(地域産業おこしの会理事長) 大江和彦氏(島根県海士町役場産業創出課長) 佐藤晃一氏(由利本荘市矢島総合支所長)</p> <p>コーディネーター: 吉田雅彦氏 ・矢島地区企業訪問</p>	秋田県 由利本荘市	112名



# 2012年度の活動(2)


年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
2012年 11月16日(金)	<b>地域産業おこしの会 In沖繩</b> テーマ: ～地域おこしSPIRITS で沖繩から発信～	基調講演:「地域おこしは独創的ベンチャー精神で」 松井利夫氏(㈱アルプス技研創業者最高顧問) パネル討論: 「沖繩とつながるために、沖繩に期待すること」 パネリスト:久保裕史氏(北の起業広場協同組合専務理事) 松田一敬氏(合同会社SARR代表社員) 野杓育郎氏(なにわ名物開発研究会会長) 黒木繁人氏(㈱富乃露酒造店代表取締役) 西里喜明氏(沖繩県中小企業診断士協会会長) 平良斗星氏(㈱エフエム那覇代表取締役) コーディネーター:吉田雅彦氏(中小企業基盤整備機構理事)	沖繩県	94名
12月4日(火)	<b>地域産業おこし セミナー</b>	講演:「スカイツリーと墨田の産業」 高野祐次氏(墨田区役所産業観光部長) ディスカッション「地域活性化への取組み」 パネリスト:西村和弘氏(㈲エニシング社長) 菊地智美氏(日本橋梁工業㈱取締役) 村尾周三江氏(㈱明日の代表取締役) コーディネーター:加藤誠司氏(横浜企業経営支援財団次長)	東京 ちよだPFS	28名
2013年 2月22日(金)	<b>地域産業おこし セミナーin宮崎</b> (次世代育成成熟ころざしとの連携)	・基調講演:「地域おこしは独創的ベンチャー精神で」 松井利夫氏(㈱アルプス技研創業者最高顧問) ・グループセッション:グループ討議～発表～講評	宮崎県 延岡市	70名



# 2013年度の活動(1)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
2013年 5月17日(金)	<b>2013年度総会開催 記念講演会</b> (NPO法人発足5周年事業)	『今後の地域産業おこしに必要な視点』と題して森まさこ 内閣府特命担当大臣(女性活力・子育て支援担当)講演  	東京 ちよだPFS 	114名
7月12日(金)	<b>地域産業おこしの会 in松江</b> テーマ: 「行動」「実践」で 地域を活性化!!会議 ー松江大会ー	～“屋台村で松江市内商店街を活性化”、 “島根の産品を各地との連携で全国展開”～ 講演①「屋台村で松江市内商店街を活性化」 久保裕史氏(北の起業広場協同組合 専務理事、当会理事) 講演②「島根の産品を各地との連携でPR」 田辺恵一郎氏 (プラットフォームサービス(株)取締役会長、当会理事) ・講演に対する質疑応答 ・地元商店街による事例発表、講師による講評	島根県 松江市 	90名
8月8日(金)	<b>中小企業都市サミット シンポジウム</b> 	基調講演:「社会経済の実態と中小企業の対応戦略」 藻谷 浩介氏 ((株)日本総合研究所 主席研究員) パネルディスカッション 「今こそ中小企業が日本のものづくりと地域を救う!!」 パネラー:伊藤 麻美氏 (日本電鍍工業(株) 代表取締役) 細貝 淳一氏 ((株)マテリアル 代表取締役) 浜野 慶一氏 ((株)浜野製作所 代表取締役) ファシリテーター:深田稔氏(深中メッキ工業(株) 代表取締役)	東京 国技館 	200名

# 2013年度の活動(2)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
10月12日(土)	<b>地域産業おこしの会 In岩手</b> ー岩手に全国の地域 振興リーダー来るー	基調講演:「復興後の未来企業に求められるもの」 松井利夫氏 ((株)アルプス技研創業者・最高顧問; 当会会長)  パネルディスカッション: 「地域産業おこしに燃える人 地域振興・震災復興を語る」  パネリスト 清水健司氏 (岩手県: 岩手大学工学部教授) 田辺恵一郎氏 (プラットフォームサービス(株) 会長、当会理事) 登内芳也氏 (北上市 地域産業連携復興支援員) 金城利憲氏 ((有)ゆいまーる 牧場代表取締役、当会理事) 吉田雅彦氏 (観光庁観光地域振興部長) 会田和子氏 ((株)いわきテレワークセンター 代表取締役、当会理事長) コーディネーター 佐藤利雄氏 (岩手大学地域連携推進センター 産学官連携コーディネーター)	岩手県 花巻市	60名  
11月26日(火)	地域産業おこし セミナーin東京	「下町ボブスレー」(株)マテリアル 細貝淳一氏講演	東京 六本木	40名
11月29日(金)	<b>地域産業おこしの会 プレゼンテーション</b>	産学官ネットワークづくり 当会のPR	さいたま市	115名
2014年 3月26日(水)	<b>こころざし3月例会 北の屋台</b>	北の屋台 ちよだプラットフォームスクウェアに学ぶ官民 連携による町の活性化 ・北の屋台 久保裕史氏講演 ・プラットフォームサービス(株) 田辺恵一郎氏講演	宮崎県 延岡市	60名








# 2014年度の活動(1)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
2014年 5月14日(水)	<b>2014年度総会開催 記念講演会</b>	テーマ:地域を面白くする秘訣 ~自治体・地元参加・仕掛人三位一体で 成功する地域活性化の極意を学ぶ~ 講師:地域総合プロデューサー 大川剛志氏	東京 ちよだPFS	40名
5月17日(土)	<b>地域産業おこしの会 In石垣島</b>  テーマ: 地域おこしSPILITSで 創造!石垣の観光 文化・都市未来	基調講演:「石垣地域観光ブランド確立支援」 吉田雅彦氏(観光庁観光地域振興部長) パネルディスカッション: 「石垣と繋がるために 地域ビジネス連携・連帯への期待」 パネリスト:進藤耕一氏(サンエー(株)代表取締役) 大塚洋一郎氏(食農連携コーディネーター代表) 金城利憲氏((有)ゆいまーる牧場代表取締役) コーディネーター:小山修氏(日上市産業経済部商工振興課長)	沖縄県 石垣市	80名
7月4日(金)	<b>地域産業おこし セミナー@福島</b>  テーマ: 福島は今、これからの 10年、20年、未来 を考える	基調講演:「農業ビッグバンへの挑戦 ~農業地域産業おこしを考える~」 針生信夫氏(農業生産法人(株)舞台ファーム代表取締役)  パネルディスカッション: 「福島とつながるために 地域産業おこしへの期待」 パネリスト:福間敏氏(当会副理事長) 山口章氏(当会監査役) 会田和子氏(当会理事長) ファシリネーター:三田公美子氏(福島県女性経営者プラザ会長)	福島県 郡山市	70名





# 2014年度の活動(2)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
8月1日(金)	<p><b>地域産業おこしの会 シンポジウムin江別</b></p> <p>テーマ: 一食と健康での まちおこしー</p> 	<p>プレセッション:江別若手経営塾卒業生による発表            基調講演:「起業家精神で地域の未来を拓け！」            松井 利夫氏(㈱アルプス技研創業者 取締役会長 当会会長)</p> <p>講演:「食と健康でのまちおこし」 三好昇氏(江別市長)パネルディスカッション:            「みんなで考える」みらいのまち えべつ</p> <p>パネリスト:渋谷 真澄氏(クリエイティブソーダ 代表)            東 俊平氏(㈱イベントホライズン 代表取締役社長)            島田 淳氏(㈱島田商店 取締役)            進藤 耕一氏(サンエー(株) 代表取締役)</p> <p>コーディネーター:深田 稔氏(当会副理事長)            アドバイザー:三好 昇氏(江別市長)</p>	<p>北海道 江別市</p>  	40名
10月17日(金)	<p><b>地域産業おこしの会 シンポジウムin横浜</b></p> <p>テーマ: 地域振興機関の 役割と支援ネット ワークづくりを考える ～先進的な取組事例と 求められる人材とは～</p>	<p>I 行政・支援機関からの発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小豆澤勝氏(島根県しまねブランド推進課)</li> <li>・岡崎英人氏(社団法人首都圏産業活性化協会専務理事)</li> <li>・小川幸雄氏(南三陸町建設課)</li> <li>・柏田恒希氏(八王子市拠点整備部中心市街地对策課課長補佐)</li> <li>・川野義和氏(佐伯市企画商工観光部商工振興課主幹兼係長)</li> <li>・郡司剛英氏(墨田区産業観光部産業経済課長)</li> <li>・小山修氏(日立市産業経済部商工振興課長)</li> <li>・櫻井享氏(川崎市産業振興財団産業支援部担当部長)</li> <li>・堂野智史氏(大阪市都市型産業振興センター・メビック扇町所長)</li> <li>・領家誠氏(大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課参事)</li> </ul> <p>進行:加藤盛司氏(横浜企業経営支援財団)</p> <p>II:基調講演 細貝淳一氏(㈱マテリアル代表取締役社長)</p> <p>III:行政や支援機関への期待</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村尾周三江氏(明日の(株)代表取締役社長)</li> <li>・藤澤徹氏(㈱新藤代表取締役社長)</li> <li>・菊池智美氏(日本橋梁工業(株)取締役総務部長)</li> </ul>	横浜市	80名



# 2014年度の活動(3)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
2015年 2月19日(木)	地域産業おこしセミナーin台東  	<p>台東デザイナーズビレッジ 視察見学会            台東デザイナーズビレッジは、平成16年4月、台東区旧小島小学校跡を改装して作られたファッション関連業種の創業支援施設。</p> <p>鈴木 淳氏(台東デザイナーズビレッジインキュベーションマネジャー)が、若手デザイナーや創業者にビジネスの場を提供し、この地域に誘致することで、将来的にデザイナーが集まる地域を形成していくことが、地域活性化のためには不可欠であることなど廃校利用の地域活性化の成功事例を講話。</p>	東京 台東区	16名  
3月	地域産業おこしセミナー勉強会	「食と農で地域を元気に！」と題して大塚洋一郎氏(NPO農商工連携サポートセンター代表理事)が講話。	東京 ちよだPFS	16名

# 2015年度の活動(1)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
5月14日(水)	<b>2015年度総会開催 記念講演会</b> 	基調講演:「東京オリンピック、パラリンピックと地域振興」 原田宗彦氏(早稲田大学スポーツ科学学術員教授) 東京オリパラの経済効果、インバウンド効果、スポーツツーリズムによる地域活性化など「スポーツと都市づくり」をテーマに講演。	東京 ちよだPFS	42名 
6月3日(水)	<b>地域産業おこしの会 In富岡</b>  テーマ: 世界遺産を核とした まちづくり 	記念講演:「富岡製糸場を核としたまちづくり」 岩井賢太郎氏(富岡市長) 基調講演:「今後のまちづくりに必要な視点」 吉田雅彦氏(観光庁観光地域振興部長) パネルディスカッション 「富岡市の持続可能なまちづくりへの期待」 パネラー:小堀良夫氏(富岡商工会議所会頭・ 株まちづくり富岡代表取締役会長) 上原茂文氏(富岡市世界遺産部長) 野口勤氏(群馬県観光物産国際協会専務理事) 会田和子氏(当会理事長) 福間敏氏(当会副理事長) コーディネーター:山口章氏(当会監事)	群馬県 富岡市	56名 
7月4日(土)	<b>地域産業おこしの会 In帯広</b>  テーマ: フードバレーネットワ クの帯広・十勝の未 来は決意と勇気から 	講演①:「震災復興と立ち上がる決意と勇気」 三塚浩之氏(株釜石プラットフォーム取締役・ かまいし水産企業組合) 講演②:「ちよだフードバレーネットワークとは」 田辺恵一郎氏(当会副理事長) 十勝チャレンジメンバーによる報告プレゼンテーション 安孫子俊之氏(江別製粉株専務取締役) 坪崎美佐緒氏(self-esteem代表) 外山隆祥氏(十勝とやま農場)中村良子氏(中村農場) 講評: 松井利夫氏(当会会長)	北海道 帯広市	41名 

# 2015年度の活動(2)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
10月24日(土)	<b>地域産業おこしの会 in 佐伯</b> 	講演①『将来への生き残りをかけた地域・企業のあり方』 西嶋泰義氏(佐伯市長) 講演②『地域企業の挑戦とその支援』 吉田雅彦氏 (宮崎大学教授・国土交通省観光庁前観光地域振興部長) トークセッション パネリスト: 脇坂 浩氏(㈱二豊鉄工所 工務課課長) 曾宮一人氏(高橋水産(株) 営業部課長) 山城達郎氏(㈱山忠 営業部) 松山太郎氏(松山塗料商事(株) 取締役) 安孫子俊之氏(江別製粉(株) 専務取締役) 竹村 修氏(大黒食品工業(株) 代表取締役社長) コメンテーター: 西嶋泰義氏(佐伯市長) 吉田雅彦氏(宮崎大学教授) 加藤盛司氏(横浜企業経営支援財団総務部担当部長)	大分県 佐伯市	60名
2016年 2月27日(土) 28日(日)	<b>地域産業おこしの会 in 大阪</b> テーマ: <b>観光ビジネスで</b> まちおこし	基調講演: 『観光は地域の総合戦略産業』 溝端宏氏((公財)大阪観光局理事長・観光局長) リレートーク: 大阪で実際に活躍する「水都」「ショッピング」「ツーリズム」「エンターテイメント」に取り組むプレイヤーがこれまでの取り組みや今後の課題などを発表 一本松英三氏(一本松海運(株)) 山本佳誌枝氏(山本能楽堂) オダギリサトシ氏(㈱インプリュージョン) 堀 感治氏(一般社団法人ワン大阪ループバス) 中立公平氏(一般社団法人 KIO) 岡本邦美氏(㈱ライトハウス、松阪牛焼肉)	大阪市	120名



# 2016年度の活動(1)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
5月18日(水)	<b>2016年度総会開催 記念講演会</b> 	「人材と地域との新たな関係性を創る「地域共創」とは？」 信岡亮介氏(株)アスノオト代表取締役CEO  岡山県西粟倉村、島根県海士町、徳島県上勝町、徳島県神山町、宮城県女川町の5つのエリアが繋がると何がおこるのかを議論。	東京 ちよだPFS	45名 
7月9日(土)	<b>地域産業おこしの会 In江別</b>  テーマ: “観光”は江別の産業になり得るか	基調講演:「起業家精神で地域の未来を拓け！」 細貝淳一氏(下町ボブスレーネットワークプロジェクト推進委員会委員長) パネルディスカッション:「“観光”は江別の産業になり得るか」 ・江別市内若手農商工業者から提言 渋谷真澄氏、保坂美晴氏 ・江別市外、北海道外からの参加者から提言 菊池雄一氏、嶋田 淳氏 ・総括 吉田雅彦氏(当会アドバイザー)	北海道 江別市	40名
11月17日(水)	<b>地域産業おこしの会 In由利本荘</b> テーマ: 創立90周年矢島高校地域連携フォーラム 「高校教育と地域連携」	基調講演:「地域のつくり手となる人材育成」 吉田雅彦氏((宮崎大学地域資源創成学部長)  パネルディスカッション: 「高校の魅力づくりと地域との連携を強めるには！」 パネリスト:会田和子氏(いわき高校評議員・当会理事長) 秋元悠史氏(海士町・隠岐國学習センター元スタッフ) 石澤基宏氏(矢島高校教諭) 佐藤眞理子氏(矢島高校評議員) 梶原千里氏(矢島高校前生徒会長) 佐藤晃一氏(司会、当会理事) 吉田雅彦氏(当会アドバイザー)	秋田県 由利本荘市 矢島	150名 




# 2016年度の活動(2)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
11月26日(土) 27日 (日)	<b>地域産業おこしの会 In出雲</b>  テーマ: 危機感が“1%の希望”のはじまり ～はじまりの國しまねは再び日本の出発点に～	基調講演:「観光は地域の総合戦略産業」 前田泰宏氏(経済産業省大臣官房審議官)  パネルディスカッション: 地元島根での、人口減少・雇用創出への取り組みをコミットする。 特別ゲスト:深田 稔氏(深田メッキ工業(株)・当会副理事長) 黒木繁人氏(旭建設(株)・当会理事) コーディネーター:田部長右衛門氏(山陰中央テレビジョン放送(株)) ・出雲の伝統文化である「鉄」「たたら」体験会	島根県 出雲市	190名
2017年 2月9日(木) 10日(金)	<b>地域産業おこしの会 In徳島</b> テーマ: 神山町の奇跡・ 葉っぱの町上勝町を 一気に体験交流	○神山町 講演: 祈答院弘智氏 神山アーティスト・イン・レジデンスに代表されるアートプロジェクトに始まり、「ワークインレジデンス」などの移住推進コンセプトや、滞在型の社会人再教育プログラム「神山塾」、ITベンチャー企業の「サテライトオフィス」を視察交流。 ○上勝町 意見交換会:(株)いろどり代表 横石知二氏 ドローンを活用して葉っぱを運搬。常に新しい挑戦を続ける横石氏の最新の活躍の状況をレクチャー。意見交換	徳島県 神山町 上勝町	4名
3月9日(木)	<b>地域産業おこしの会 In東京</b> テーマ: 秋田県五城目町 廃 校利用「シェアビレッ ジ」構想を聞く	講演: 丑田俊輔氏(ハバタク(株)共同代表) 学生時代、プラットフォームサービス(株)の立ち上げに参画。 千代田区の公共施設をリノベーションし、インキュベーション拠点として再生。その後、IBMビジネス・コンサルティングサービス(株)にて、グローバル戦略、戦略策定ワークショップ・キャンプの設計・開発・講師を担当。秋田県五城目町を拠点にハバタクラボを担当。	東京 ちよだPFS	30名



# 2017年度の活動(1)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
2017年 5月24日(水)	<b>2017年度総会開催 記念講演会</b> 	基調講演:「中小企業の産学官連携の人的ネットワーク」 ～宮崎県、岩手県の事例から～ 吉田雅彦氏(宮崎大学地域資源創成学部長)	東京 ちよだPFS	20名
8月29日(土)	<b>地域産業おこしの会 In浦幌</b> テーマ: 「うらほろ」の地域づくり実践から学ぶ	うらほろスタイル推進地域協議会 門馬孝敬会長が浦幌の概要を説明。  基調講演:近江正隆氏(株)ノースプロダクション代表 高校生を受け入れる農村ホームステイ事業やうらほろスタイルによるまちづくりを解説。	北海道 浦幌町	25名
2018年 2月23日(金) から25日(日)	<b>地域産業おこしの会 In台北</b> テーマ: アジアの地域産業おこしに係る企業人・起業家との出会いと交流の機会創出を目指して	視察交流先 ①秋田銀行台北駐在員事務所訪問 台北の市場動向等のプレゼン・意見交換 ②01Creators福田幸三郎様、方泰科技 天満浩四郎様 ほか 訪問(台湾進出支援、Webサイト運営、メーカー) ③(株)サムシング・グレード代表秋光勇介氏 ④TaiwanStartup Stadium Elsa Mou氏 ⑤MoBagel社 Mr.Adms Chung Marc WU氏、事業開発部部長 丹野祥子様訪問 (AI関連スタートアップ支援)など	台湾 台北市	6名





# 2017年度の活動(2)

年月日	行事名	主な内容	開催地	参加者
2018年 3月9日(金)	第1回地域産業 おこし大賞表彰式	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大賞 該当者なし</li> <li>●優秀賞 ハバタク株式会社 代表 丑田俊輔 様</li> <li>●優秀賞 企業組合遊子川ザ・リコピンズ 代表理事 辻本京子 様</li> <li>●奨励賞 エコライ株式会社 代表取締役 平野徳彦 様</li> <li>●モデル賞 株式会社いろどり 代表取締役社長 横石知二 様</li> </ul>	東京 ちよだPFS	20名



- 優秀賞 ハバタク株代表 丑田俊輔 様** 秋田県五城目町  
 秋田県五城目町を拠点に、「学び」を通じた持続可能な地域社会システムづくりに挑戦しているハバタクの活動は、地域に新しい産業づくりのインパクトを与えている。地域から多様な起業家が生まれる生態系づくり、地元の小学校などと連携した多様性と創造性にあふれた学びの環境づくり、地域住民の学びと実践のコミュニティづくり、地域間の学び合いの創出などを通じた活動は、地域産業おこしの代表的、挑戦的な活動と評価できる。また代表の丑田氏は30代の若者でありながら、地域の様々な組織、団体、人々と密着するための努力を粘り強く継続し、その行動力は高く評価できる。
- 優秀賞 企業組合遊子川ザ・リコピンズ代表理事 辻本京子 様** 愛媛県西予市城川町  
 愛媛県西予市遊子川は、約50年前から大玉トマトが地元の特産品である。しかし昨今、高齢化や過疎化によりトマト農家が減少、トマトの生産量も減少している。辻本氏は地域産品の再生を目的に、遊子川トマトの知名度向上やトマト農家の意欲向上支援の活動を展開している。同様にトマトを活用した加工品の製造販売、地域に憩いの場を創造する目的を達成するため、トマトをはじめ地元の旬の野菜を使ったメニューを提供する農家レストラン「食堂ゆすかわ」を運営している。過疎化の進む地域において地産トマトを通じた地域産業おこしの活動は優秀賞に値するものと評価した。
- 奨励賞 エコライ株式会社代表取締役 平野徳彦 様** 群馬県前橋市  
 同社は、群馬県における典型的な研究開発型企業であり、代表取締役の平野氏は起業家であるとともに実践的な研究者である。平野氏は地域起業として20年以上のキャリアを持ち、同時に大学や民間企業の取りまとめ役をつとめ、また国や県などの行政との調整役として地域コンソーシアム研究開発事業に取り組んできた。特に環境エコに関する開発活動は、超微細霧発生装置の開発により、ヒートアイランド対策としての効果も評価されている。地域の企業や研究機関等を巻き込んだ地域産業の創生に寄与しているという点で、奨励賞に値するものと評価した。
- 地域産業おこしモデル賞 株式会社いろどり 代表取締役社長 横石知二 様** 徳島県勝浦郡上勝町  
 徳島県上勝町を舞台に、葉っぱビジネスを仕掛けて一世を風靡した横石氏の業績は、地域産業おこしのモデルとして評価できる。最近では、ドローンを活用して山間地の葉っぱ納品に役立てる革新的なチャレンジを行い、また、地域への自然レストランの誘致などにより、地元と一体化した観光地としての知名度向上にも寄与している。

# 地域に出掛ける

## 「地域産業おこしの会」



## 活動の足跡

主な後援事業

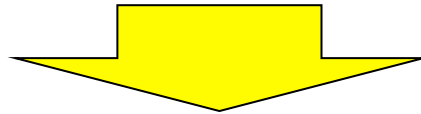
- ①映画甲子園コンテスト(2014年度から)
- ②ちよだPFS周年事業(2014年度から)



特定非営利活動法人

# 地域産業おこしの会 **未来への展望**

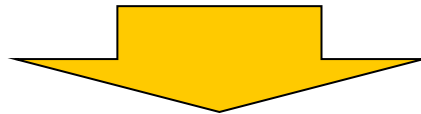
地域産業おこしの願いは地域の成長性と豊かな暮らし実現！



地域づくり、地域活性化、雇用創出、地方創生……

**未来の姿は人の力にかかっています。**

個人力を公に発揮される時代、被災地復興も地域活性化も基本線は人のつながりです。



**交流の輪の拡充展開！**

地域とつながる信頼のネットワークづくり